



郡家小学校へ ようこそ!

高槻市マスコットキャラクター はにたん 8月20日今城塚古墳生まれ

郡「家」小学校のなかには HOME があります

HOME 郡家小学校

毎日楽しく学校へ通う
そんな当たり前なことのために
子ども達のために

色んなかたちのHOME・・・
学校・家庭・地域で支える子ども達のHOMEへ

HOME 郡家小学校

毎日楽しく学校へ通う。
そんな当たり前なことののために。
子ども達のために。

色んなかたちのHOME・・・
学校・家庭・地域で支える子ども達のHOMEへ。



校区の特色「 自然・歴史・人のつながり」

○校歌に歌われる風土

- | | | |
|---------|-------|---------------------------|
| ★自然 | 田園風景 | 緑の山に囲まれて |
| ★歴史 | 古墳と郡衙 | 歴史も古き今城の |
| ★人のつながり | 福祉のまち | 力をあわせ、たすけあい
ともにきずかん郡家校 |

建学の精神 「平成28年度教育理念」より

「自立して社会の力になる」

人は他者を信じることによって、
はじめて、自らの「志」を立てることができる。

学校・家庭・地域で支える 子ども達のHOME

- 学校・家庭・地域の大人が子どもをしっかり見守る。
 - ・子どもたちは大人を信じ、大人から学ぼうとする。
- 学校・家庭・地域の大人が笑顔の関係になる。
 - ・子どもたちは安心して、自分からがんばろうとする。
- 学校・家庭・地域をつなぎ、子どもの学びの場をつくる。
 - ・子どもたちは、学校、家庭、地域で、自分の立ち位置・役割を見つけ、社会参画力を身につけていく。

教職員像

「平成28年度教育理念」より

◎人間として

- 1 人とつながり生きる喜びを感じ、人から学ぶ謙虚な姿勢をもつ。
- 2 自分を信じ、自らが変わっていく勇気をもって、自分を磨く。
- 3 社会人としての常識をわきまえ、礼を尽くして正しく生きる。

◎教育者として

- 1 子どもの命をあずかる覚悟をもち、子どもに寄り添う。
- 2 子どもの力を信じ、一人ひとりの持てる力を最大限引出す。
- 3 子どもが社会の力となるよう、子どもが育つ道筋を示し導く。

◎教育職員として

- 1 授業力を高め子ども理解を深めるため研鑽に努め技量を高める。
- 2 丁寧な対応、温かい言葉が行きかう学校の文化を創造する。
- 3 地域の一員として教育に携わり、地域の人と人間関係を築く。
- 4 誇りと謙虚な姿勢をもつ教職員集団(チーム郡家)を創造する。

地域と連携した特色ある学校づくり

◎幼・小・中・高・大をつなぐ。

◎地域の人たちと学校をつなぐ。

◎地域に出て、地域から学ぶ。

◎地域に愛される学校施設をつくる。

幼・小・中・高・大をつなぐ(1)

- * ○郡家幼稚園とのつながり
- * ・七夕交流、今城ウォーク、合同授業(1年生)
- * ・プール交流、お弁当交流(4年生)
- * ・ソーラン交流(5年生)、
- * ・幼・小合同防災訓練
- * ○第二中学校区をつなぐ (「連携型小中一貫教育」)
- * ・めざす子ども像の共有。連携部会の月1回開催
- * ・校区授業スタンダードの策定、合同授業研究会の実施
- * ・児童生徒の合同行事、中学生の職場体験学習



4年生 プール交流



3年生 幼稚園児との
共同ヤゴ救出作戦

1年生 七夕交流



幼・小・中・高・大をつなぐ(2)

○府立三島高等学校とのつながり

- * ・全校一斉クラブ活動交流の実施

○平安女学院大学とのつながり

- * ・インターンシップ(1・2回生)、教職オリエンテーション、教育実習、教志セミナー(3回生) 教職実践研修(4回生)
- * ・学校支援ボランティア
- * ・放課後学習のアドバイザー
- * 学生スタッフが常時、学校に。



地域の人たちと学校をつなぐ(1)

○学校の活動へのPTA・地域の協力

- * ・おはよう文庫
- * ・クラブボランティア

○PTAが子どものための行事を企画

- ・スポーツイベント

○地域が安全・安心な子どもの居場所をつくる

- ・放課後子ども教室



地域の人たちと学校をつなぐ(2)

○学校評議員会

教育理念→マニフェスト→自己診断→評議員答申→学校評価

○セーフティボランティア

○地域安全センター

- * PTA、セーフティボランティア、青少年健全育成協議会
- * 少年補導員、青少年指導員、民生・児童委員
- * 連合自治会、地域教育協議会、福祉委員会
- * 大阪府警、高槻警察署、教育委員会事務局

「子どもを犯罪から守るモデル地区」

(H22,23)



地域の人たちと学校をつなぐ(3)

○子どもたちが発表できる場をつくる

- * 川西夏祭り (青少年健全育成協議会)
- * 川西文化祭、中阿武野文化祭 (連合自治会)
- * 新春のつどい (学校開放運営委員会)
- * 緑のカーニバル、はにコット (いましろ大王の杜)
- 高槻市農林業祭 (嶋上郡衙跡広場)
- 高槻荘「敬老祝賀会」、老人福祉センター「発表会」

○子どもたちが奉仕できる場をつくる

- * クリーンキャンペーン (地域教育協議会)
- 三島高校、第二中、郡家小児童・生徒で合同地域清掃

。

地域に出て地域から学ぶ(1)

○校内研修「地域と共に生きる」

全教員で校区にあるさまざまな施設と関係づくり

○「郡家っこの心の畑を育てる プログラム」

小学校6年間の地域学習
福祉教育を系統化



地域に出て地域から学ぶ(2)

- 1年 七夕交流(高槻荘)、公園調べ
昔遊び(福祉委員会・民生委員・児童委員)
- 2年 町探検 (福祉施設、ハイポニカ)
- 3年 社会見学(明治工場、フレンドマート)
働いている人にインタビュー
- 4年 バリアフリー(盲導犬、車イス学習(高槻荘))
高齢者との交流(郡家老人福祉センター)

地域に出て地域から学ぶ(3)



○5年

◎学習田

①苗の観察②代かき③田植え④稲の花観察

⑤案山子づくり⑥稲刈り⑦脱穀⑧リースづくり⑨餅つき

⑩実行組合の方の講演「農家の生活と生き方」を学ぶ

◎高槻荘

①施設職員の講演「認知症」について学ぶ

②高槻荘の訪問 入所、通所されている方との交流

○6年 地域の人たちとつながるために、自分たちに何が

できるかを考えて行動する→「ほっと郡家」祭り(H28)

地域に愛される学校施設をつくる

* ○芝生を育てる

* ○メロディチャイム

* ○ありがとうの掲示板



私たちはいつも考える

「みんなが手をつなぎ、わけあい、力になりあい、
うらみやねたみや我利我利をふきとばし、
いぼったり、いぼられたりすることをなくし、
ばかにしたり、ばかにされたりすることをなくし、
男も女も、としよりもこどもも、どんなしごとをする人も
思うぞんぶん生きられるような、
そんな村にすることは、もっともっと大事だなあ」

(東井義雄 「村を育てる学力」)

自立して社会の力になってくれる子どもたちに思いを馳せて